

サラワクの泥炭地とプランテーションを訪ねて

2007.12.24 ~ 2008.1.5

Mukah への旅

- クアラルンプール→サラワク州のクチン→Mukah
- 帯広を出てから3日目の午後4時半頃到着
- 15人乗りくらいのプロペラ機
- 原生林の間を、川が自由に蛇行している様子。
- 土砂の流出のため、川の水は赤茶色
- 海の水の色も泥色。
- オイルパームのプランテーション
- ひとつのプランテーションの大きさは、南北が30キロメートル、東西が10キロメートルほど

サラワクの地図



Mukah への旅

たくさんの荷物



Kutin-Mukah Flight



マレーシア・サラワクの湿地

Google マップ BETA 住所 Mukah, Sarawak マレーシア



サラワクの原生林

蛇行する川



未開発の森林



自然に近い湿地の川



切り拓かれる湿地林



サラワクの油ヤシ・プランテーション



泥炭地の川の水を採取



サラワク 熱帯林開発の問題

濁った海



赤く濁った川



サラワク 熱帯林の開発・伐採

湿地林内に建設された大学



大きなプランテーション



サラワク プランテーション開発

切り出された丸太



排水路から浚渫された土砂





マレーシア・西サラワク

焼畑

No. 65,
Shifting cultivation in
W-Sarawak, Malaysia

Mukah での生活

- クリスマスのお祝い。クリスマス前後1週間くらいは、お互いに訪問しあって祝うのだそうです。
- マレーシアもサラワクも多民族国家。
マレー人、中国人、現地出身のイバン、メラナウなどの民族、インド人、インドネシア人などさまざま。
宗教もさまざまで、多数派はイスラム教ですが、中国人は仏教や道教が多く、現地民族はカトリックが多い。
- 私が現地で食べためずらしいもの。

サゴ虫

マテ貝

他にもいろんな果物

ほとんど中国系のレストランで食事

「ウマイ」という料理。生の魚の切り身を酢締めにして、野菜と一緒に食べるもの
「どうぞ」というので、頂きました。とてもおいしい「ウマイ」でした。

Lulieさんと妹



妹さんのご主人とその弟



サゴムシ



サゴムシの料理



ムカでの食事

- 漁村なので、魚類は豊富

近くで採れるものは、魚類と、サゴヤシのデンプン、サゴ虫、湿原や森林の中で採れるワラビや野草などです。

鶏は日本の鶏と比べると骨が多く身が少ないとは思いましたが、大変おいしい。

ダチョウの肉を食べた。サラワクで飼育している。

野菜では、他にもチンゲンサイ、カンコン(サツマイモの茎と葉)、ニガウリ、もやし(豆芽という)などを食べた。

料理にはかならずチリと醤油が小皿に入れて出てきます。料理のなかにも赤い唐辛子が丸ごとたくさん入ってる。慣れればなんとか辛抱できる辛さでした。

ワラビ



カンコン(サツマイモの葉)



エビ料理とマテ貝、サゴムシ



トミヤムスープ(魚入り)



豚のもも肉



なます



ダチョウ



ムカの果物

ニオイパンノキ



ドリアン



オレンジドリアン



プラサン



ランブータン



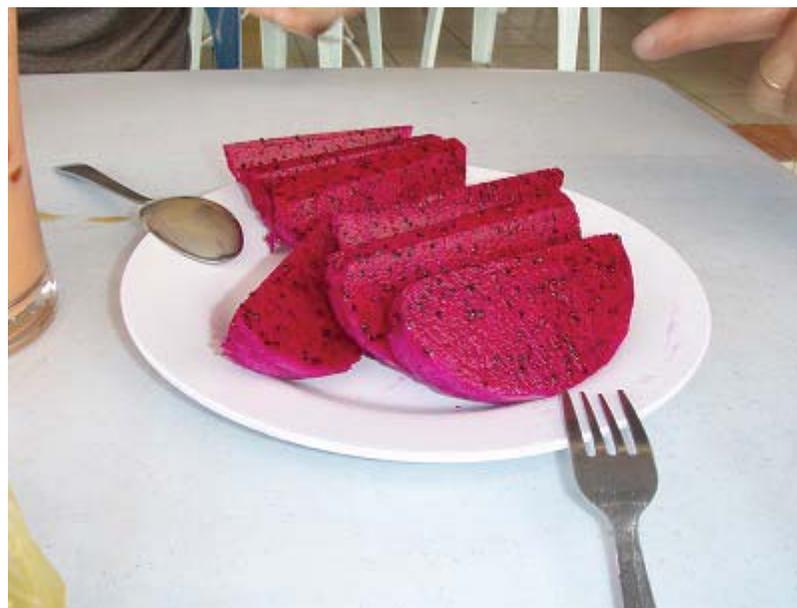
ダバイ



ドラゴンフルーツ



切ったところ



平和なMukah

- 「平和だね」というのが共通の印象。

商店、レストラン、銀行、ホテルなどさまざまな職場で女性たちも活躍

ムカは、今、急速に発展しつつある。

オイルパームのプランテーションの恩恵もある。

サラワク政府が、この街を文化都市として建設しようとの政策を打ち立て、ムカの近くには2つの大学ができた。

ムカの社会の発展が、平和なムカをどのように変えていくことだろうか？

パンの実を売るおばさん



中国人学校



ムカ力の中国寺院 泰山亭



御幣を燃やす



元旦からクッキーを焼くおばさん



Mukahの中国人

- マレーシアで最も多数派の民族はイスラム教徒のマレー人である。しかし、商店やホテルにはほとんど中国語(漢字)の看板が掲げてある。実際、経営者は中国系の人たちなのだろう。

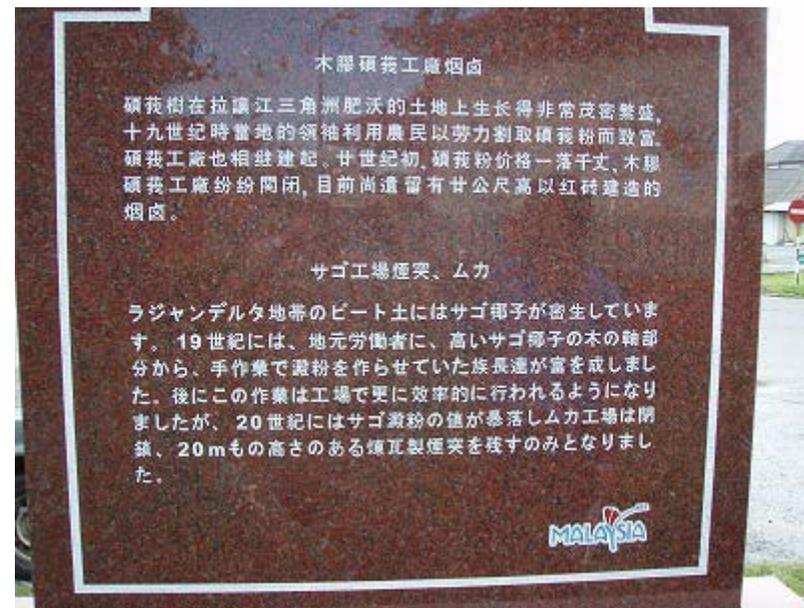
マレーシアで政治家になれるのは、イスラム教徒のマレー人だけだそうである。中国人や現地土着の民族(イバン人やメラナウ人)は、政治家や首長に選ばれることはできない。

一口に中国系と言っても、広州系の人たち(福建人)と漢民族系の人たち(客家人)がサラワクには来ているようだ。

私たちが泊まったホテルの隣には中国人学校があった。日本人とそっくりだった。マレーシアでは、もう朝の6時半頃から生徒さんたちが学校に集まってくる。

授業の開始は7時30分だそうだ。

サゴヤシでんぶん工場の煙突 その説明



ムカ川



伝統的な船



ムカ川と渡し場



中国寺院とホテル



中華レストラン



レストランのメニュー



Mukahの川

- 川の水の色が紅茶のように茶色く色づいている。

原生林の中から流れてくる水もとても濃い色をしていましたが、濁りはありませんでした。

原生林が伐採されたところでは、水が泥を含んで濁っていました。茶色の色は多少薄かったように思います。

原生林の伐採が進むと、川の生き物も少なくなっていくことでしょう。

プランテーションの中は、整然として気持ちは良いのですが、花の種類も少ないし、鳥や虫もあまり見かけず、これが本当の熱帯なのだろうかと思いました。蚊やアブに悩まされずに済みました。畜大付近の方がわずらわしい虫たちは多いです。

ムカ川



ムカ川



自然な状態の川 河口近く



上流側



手付かずの川



くみ上げた水



川の水の色



水の採取



プランテーションと排水路



排水路の様子



サゴヤシの丸太



新しい排水路



Glossy Starling

- プランテーション事務所付近でめずらしい鳥を見ました。大きさはツバメくらいで、全身真っ黒ですが、目の周りだけ赤い色をしています。
- 熱帯アジアの鳥類図鑑を調べたところ、Asian glossy starling という鳥のようです。図鑑にはPhilippine glossy starling が載っていたのですが、こちらは体の色が深い緑色で目の周りだけが赤くなっていました。インターネットでglossy starlingを画像検索したところ、もっと黒い鳥にはAsian glossy starlingという名前がついていました。また別のサイトではmetallic starling という名前でした。ムクドリの仲間です。お互いに近い親戚でしょう。wikipedia に載っていた写真を転載します。
引用元 <http://www.avianweb.com/starlings.html>

なお、この鳥の和名としては、オナガテリカラスモドキというかわいそうな(失礼な)名前がつけられていました。

Flags of Malaysia and Sarawak



Metallic Starling



Metallic Starling



実験の様子



プランテーションと蚊の話

- サラワクでほとんど蚊に悩まされなかったことの原因。

一つは、私たちが訪れた季節が雨期だったため、水の流が速かったこと。蚊は水たまりで発生しやすいので、流が早いと発生しにくい。

二つめは、プランテーションで殺虫剤を多量に使用していること。

さらに、この二つ目の原因は、恐ろしい影響をもっている。

蚊や害虫が薬剤耐性を持ち始め、薬が効かなくなること。

つまり、病気をまん延する蚊や害虫が現われても、薬で抑えられなくなる。

殺虫剤ばかりでなく、除草剤もプランテーションでは多量に使われていることだろうと思う。とても人海作戦で除草できる面積ではないのに、プランテーションの地面にはほとんど雑草が生えていなかった。

鳥インフルエンザやエイズ、エボラ出血熱、デング熱などが、熱帯の国から発生し、人類にとって非常な脅威をもたらしているが、このことの原因として、熱帯の森林が破壊されプランテーションとなり、そこで薬剤が多量に使用されていることが原因のひとつとなっているかもしれない。

プランテーション管理ビル



アブラヤシの花



様々なヤシ

クジャクヤシ



ココヤシ



ココヤシの花



アブラヤシのプランテーション



プランテーションの排水路



アブラヤシの実



ショウジョウヤシ



プランテーションの中

